

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名：
 岩手県 一関市立花泉小学校

活動名： 予算を獲得し学校を変える ～ 特別支援学級新設をコーディネート ～

解決すべき課題：
 特別支援学級 3 学級設置の決定を受けて、計画を立て予算を要求し、改修や購入を実施すること。

目標・方針

- 1 学校で唯一の教育行政職員として経験を活かし学校現場の教員と市教委事務局等とのコーディネートを一貫して行うこと。
- 2 市教委事務局からの指示や予算配当を待たずに、積極的に施設改修や備品物品購入計画を立て、「新年度予算」、「予算再配当」、「既配予算」等、対応する財源や執行時期を勘案しながら予算担当課に要求を行うこと。そして令和 2 年 3 月末までに改修や購入を完了させること。
- 3 令和元年度研修の内容を、学校現場の仕事に活かし、役立てること。
 - (1) 学校組織マネジメント 北神正行先生 3 つの視点より⇒学校の資源をつなぎ、カネを外からとってくる。
 - (2) 財務マネジメント 田中真秀先生 学校改善と学校財務より⇒子どもの学びを組織的に豊かにする。ビジョンが必要 校長・副校長・教員と事務職員が同じ言葉で語り合う場面が必要

活動内容：

- 1 予算要求するにあたり、チーム学校として校長、副校長、特別支援コーディネーターと打ち合わせを行い、施設改修・備品物品購入計画を教員とともに立て、学校から積極的に動く姿勢をとることを確認し起案し決裁を受け学校の事業として実施した。
- 2 市教委事務局の特別支援教育担当指導主事への働きかけ、教育総務課や市建設課、地域振興課へ改修計画を直接持ち込み打ち合わせを行った。学校事務職員としての立ち位置を活用し計画・調整・予算要求・執行等をコーディネートした。
- 3 「特別支援学級設置」という根拠をもとに、必要な施設と備品物品等を「予算要求的な資料」にまとめ、「的確な時期」に、「的確な相手」に「必要なアピール」を行い、これにより必要な予算を獲得した。
- 4 施工業者対応について、作業の進行計画、日程の調整、現場での安全計画の確認等を行った。また障がいを持つ児童の細かな状況を聴き取り、現場の打ち合わせを行い施工内容の調整を行った。

活動の成果：

- 1 新しい教室にはじめて入る際の児童の笑顔を見ることができた。
- 2 施設改修計画・備品購入計画説明資料⇒教室配置図と必要備品の調達計画の一例⇒右表 1 参照
- 3 特別支援学級設置決定の動きと予算関係の動きの時期の説明図⇒右表 2 参照
- 4 児童の障がいに応じた調整を教員と業者で行い施工に活かした⇒児童への配慮事項と調整右表 3 参照
- 5 おおむね計画のとおり予算を獲得し準備ができた。⇒予算措置と施設改修の一覧表 右表 4 参照

アピールポイント (アイデアや工夫)：
 予算は通常、行政機関においては法的根拠や首長の政策に基づき、要求し、査定され、議会を経て獲得されるものである。そして事業が展開され、行政効果が生まれるものである。しかしながら、学校にとって予算とは

一方的に配当されるものであり、その範囲内でのみうまく執行するのが従来の学校予算執行の形であり、学校事務職員のスタイルであった。当該事業においては、学校事務職員も行政マンであり、そうであるからには、正当な根拠と現場の必要性に即し、「学校現場から発信して予算を得て、学校現場で業者への細かな調整を行い、事業を執行する」ことがさらに踏み込んだ、「主体性のある学校財務マネジメント」であると考え、あえて役所の予算要求的にアレンジして当該事業を実施したものである。

表 1 < 教室配置図と必要備品の調達計画の一例 > 教員と打合せの上、作成し施設改修、予算要求時の説明に使用 他に 2 教室分の計画立案

品名	数量	調達方法	備考
エアコン	1 台	新設 令和 2 年度予算は給付金、高価な地域別調製。	給付金へ請求 購入。
床	1 式	フロアシートへ変更 地域別調製にて実施。	移動 職員室前廊下等のもの。
仕切り壁	2 枚	保留 今後の状況を見て地域別調製にて実施。	既配予算で購入。
避難用スロープ	1 枚	新設 南側へ児童が来いすり降下するため 地域別調製にて実施。	既配予算で購入。
車いす対応水廻り	1 枚	開閉用レバーへ交換 地域別調製にて実施。	既存より移動。
学習用仕切り	1 枚	新設 教室コーナーに設置し、目隠しより移動。	既存より移動。
カーテンレール	1 枚	既存 2 枚を 1 枚に併せ、車椅子に対応。	既存より移動。
女子用洋式トイレ	1 枚	既存 2 枚を 1 枚に併せ、車椅子に対応。	既存より移動。
大型テレビ	1 台	給付金へ請求 購入。	
テレビ	1 台	給付金へ請求 購入。	
モバイル PC	1 台	給付金へ請求 購入。	
加温器	1 台	給付金へ請求 購入。	
教卓	1 台	移動 旧市立小学校より移動。	
避難用机 (教卓用)	2 台	1 台は床を敷き替えより移動 1 台は天板より移動。	
避難用イス (教卓用)	1 台	1 台は PC 敷き替えより移動。	
ホワイトボード	1 台	給付金へ請求 購入。	

※ 車いすでの生活であること、隣の 3 学年普通学級との交流があること。

＜配置図＞
 教員用椅子、教員用机、教卓、TV 台、省替え用コーナー、床全面をフロアシートへ張り替え、天井設置エアコン、加温器、仕切り壁、出入口、避難用スロープ、カーテン。

表 2 < 特別支援学級入級決定時期と予算要求の時期 >

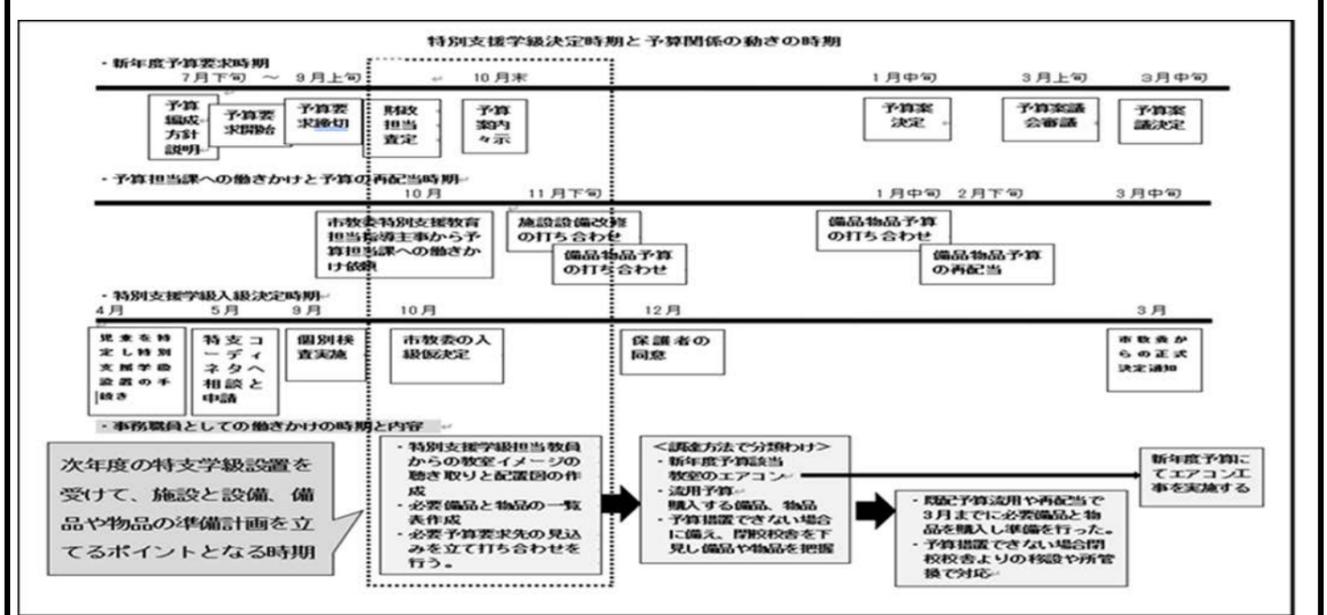


表 3 児童への配慮事項と調整例

- ・洋式トイレ手摺り高さ・ペーパーホルダー位置・避難スロープ
- ・段差・スロープ角度レベル調整・空気清浄機配置・床張替化学物質配慮・エアコン設置位置・制御カバー取付・排水パイプ位置
- ・業者安全措置 電機水道火気取扱等

表 4

- ・予算措置 需用費消耗品費 1 8 9 千円 一般備品費 2 2 7 千円
- ・施設改修関係 床改修費 8 9 4 千円 エアコン設置 3 4 0 7 千円
- ・避難スロープ 4 5 6 千円